

## 大気常時監視測定機器点検整備業務実施要領

### 1 業務対象

本業務は、別記1の測定局に設置する点検対象測定機器について点検整備を実施するものとする。

### 2 業務実施期間

本業務の実施期間は、契約締結日から令和7年3月21日までとする。

### 3 主任技術者等

- (1) 受託者は本契約の技術上の点検をつかさどる主任技術者を定め、委託者に通知するものとする。主任技術者を変更したときも同様とする。
- (2) 委託者は前条の主任技術者について機器の点検整備について著しく不相当と認められるものであるときは、受託者にその理由を明示して、その変更を求めることができるものとする。

### 4 点検整備作業

#### (1) 点検整備頻度及び項目

- ① 点検整備は別記2により行うものとし、点検項目は別記3の点検記録簿に掲げる事項とする。
- ② 点検に必要な工具、計測機器等の機材は、設置機器に付属して設置されているもの及び委託者から貸与するものを除き、受託者の負担とする。

#### (2) 修理、部品の取り替え等

- ① 委託者は、点検調整に必要な部品を受託者に支給する。
- ② 受託者は、①の部品を用いて点検整備を行うものとする。ただし、使用中の部品の継続使用が可能と判断し、交換を実施しなかった部品は、委託者に返却する。
- ③ 受託者は、①の部品以外に修理または部品の取り替えの必要があると判断した場合は、委託者の承認を得て行うものとする。
- ④ ③に定める修理又は部品の取り替えに要する物品の費用は委託者の負担とする。ただし、受託者の不注意な取扱その他受託者の責に帰すべき事由によって生じた修理及び取り替えに要する経費は、受託者が負担するものとする。
- ⑤ 受託者は、精密点検の対象となる測定局について、点検対象以外の測定機器についても採気管の交換及び、分配管（マニホールド）の洗浄を行うこと。

#### (3) 廃棄物処理

作業によって発生する廃棄物は、受託者の責任において適正に処理すること。

## 5 点検整備実施計画表の提出及び計画の変更

定期点検は原則5月～7月、精密点検は11月～1月に行うものとする。大気環境測定車の精密点検は、2月19日から3月21日までの間に行うものとする。

受託者は、点検を開始するにあたり点検実施計画表（別記4）を委託者に提出するものとし、実施計画の変更は委託者受託者協議して定めるものとする。

## 6 作業の報告等

- (1) 受託者は、点検作業終了後、点検記録簿（別記3）を委託者にPDF形式で提出すること。なお、点検の結果、機器に異常が見られた場合は、速やかに機器管理担当者（別記5）と協議し対応すること。
- (2) 委託者は、前項の記録簿の提出があったときは実施結果を確認するものとし、必要に応じて検査を行うものとする。
- (3) 受託者は、定期点検終了時及び精密点検終了時に、点検した全ての測定局の委託者が確認した点検記録簿を取りまとめ、委託者の定める期限までに委託者に原本及びその写しを提出するものとする。
- (4) 受託者の点検後、測定機器に不調をきたし、それが受託者の作業によって発生したと考えられる場合には、受託者は委託者の申し出により、再度点検・調整を行うものとする。

## 7 その他

- (1) 実施要領等に示されていない事項についても、機器の管理、機能等の維持する上で整備等が必要とした事項については、機器管理担当者と協議すること。
- (2) 測定局舎等、業務に必要な鍵の受け渡し及び入室については、機器管理担当者の指示に従うこと。
- (3) 機器管理担当者等が維持管理、機能向上等において助言を求めた場合は、点検業者の立場から適切な技術的助言を行うこと。

## 別記 1

## 点検対象測定局一覧

測定局名	住所	建物等
環境保全研究所	長野市安茂里字米村 1978	環境保全研究所安茂里庁舎
松本	松本市島立 1020	松本合同庁舎
上田	上田市材木町 1-2-6	上田合同庁舎
諏訪	諏訪市上川 1-1644-10	諏訪合同庁舎
大町	大町市大字大町 1058-2	大町合同庁舎
飯田	飯田市追手町 2-678	飯田合同庁舎
伊那	伊那市荒井 3497	伊那合同庁舎
須坂	須坂市大字須坂字山崎 812-2	須坂市旧上高井郡役所
佐久	佐久市大字跡部 65-1	佐久合同庁舎
木曾	木曾郡木曾町福島 2757-1	木曾合同庁舎
小諸	小諸市与良町 6-5-5	東信教育事務所
中野	中野市中央 1-4-19	中野庁舎
更埴インターチェンジ	千曲市粟佐 1064-4	
岡谷インターチェンジ	岡谷市今井 1660-4	
コンテナ No. 1	北佐久郡軽井沢町長倉大日向 5527-2	軽井沢町浅間台団地
コンテナ No. 2	下伊那郡喬木村 259 番地 3	阿島北コミュニティ消防センター
大気環境測定車	長野市安茂里字米村 1978	環境保全研究所大気環境部

定期点検対象測定機器

令和6年4月1日現在  
(1/3)

測定局名 機器名	二酸化硫黄・浮遊粒子 状物質自動測定記録計		浮遊粒子状物質 自動測定記録計		窒素酸化物 自動測定記録計	
	機種名	整備 年度	機種名	整備 年度	機種名	整備 年度
環境保全研究所						
松本 (松本合同庁舎)	TOADKK GFS-327C	R2			KIMOTO NA-721	H28
上田 (上田合同庁舎)			KIMOTO PM-711	H30	KIMOTO NA-721	H29
諏訪 (諏訪合同庁舎)	TOADKK GFS-327B	H26			KIMOTO NA-721	R1
大町 (大町合同庁舎)					KIMOTO NA-721	R2
飯田 (飯田合同庁舎)			KIMOTO PM-711	H30	KIMOTO NA-721	R5
伊那 (伊那合同庁舎)	TOADKK GFS-327B	H26			KIMOTO NA-721	R5
須坂 (須坂市旧上高井郡役所)						
佐久 (佐久合同庁舎)	TOADKK GFS-327C	R2			KIMOTO NA-721	R2
木曾 (木曾合同庁舎)	TOADKK GFS-327C	H28			KIMOTO NA-721	R5
小諸 (東信教育事務所)					KIMOTO NA-721	H28
中野 (中野庁舎)						
更埴インターチェンジ			TOADKK DUB-357C	H29	KIMOTO NA-721	H29
岡谷インターチェンジ			TOADKK DUB-357C	H28	KIMOTO NA-721	R2
コンテナ No. 1 (軽井沢町浅間台団地)	TOADKK GFS-327C	H29			KIMOTO NA-721	H29
コンテナ No. 2 (喬木村阿島北)			KIMOTO PM-711	H30	KIMOTO NA-721	H21
大気環境測定車						
機器台数	6		5		13	

定期点検対象測定機器

令和6年4月1日現在  
(2/3)

測定局名	光化学オキシダント 自動測定記録計		非メタン炭化水素 自動測定記録計		一酸化炭素 自動測定記録計	
	機種名	整備 年度	機種名	整備 年度	機種名	整備 年度
環境保全研究所						
松本 (松本合同庁舎)	TOADKK GUX-353B	R2	TOADKK GHC-355B	R1		
上田 (上田合同庁舎)	KIMOTO OA-781	R3				
諏訪 (諏訪合同庁舎)	TOADKK GUX-353B	R1				
大町 (大町合同庁舎)	KIMOTO OA-781	R3				
飯田 (飯田合同庁舎)	TOADKK GUX-353B	R1				
伊那 (伊那合同庁舎)	KIMOTO OA-781	R4				
須坂 (須坂市旧上高井郡役所)	HORIBA APOA-3700R	R5				
佐久 (佐久合同庁舎)	TOADKK GUX-353B	R4				
木曾 (木曾合同庁舎)	KIMOTO OA-781	R3				
小諸 (東信教育事務所)	KIMOTO OA-781	R3				
中野 (中野庁舎)	KIMOTO OA-781	R3				
更埴インターチェンジ						
岡谷インターチェンジ						
コンテナ No. 1 (軽井沢町浅間台団地)	KIMOTO OA-781	H28				
コンテナ No. 2 (喬木村阿島北)						
大気環境測定車						
機器台数	12		1		0	

定期点検対象測定機器

令和6年4月1日現在  
(3/3)

測定局名	微小粒子状物質 自動測定記録計		測定項目数
	機器名	機種名 整備 年度	
環境保全研究所			-
松本 (松本合同庁舎)	KIMOTO PM-712	R4	6
上田 (上田合同庁舎)	KIMOTO PM-712	R3	4
諏訪 (諏訪合同庁舎)	TOADKK FPM-377 (屋内型)	H23	5
大町 (大町合同庁舎)			2
飯田 (飯田合同庁舎)	KIMOTO PM-712	R2	4
伊那 (伊那合同庁舎)	KIMOTO PM-712	R4	5
須坂 (須坂市旧上高井郡役所)			1
佐久 (佐久合同庁舎)	TOADKK FPM-377 (屋外型)	H23	5
木曾 (木曾合同庁舎)	TOADKK FPM-377 (屋外型)	H23	5
小諸 (東信教育事務所)			2
中野 (中野庁舎)			1
更埴インターチェンジ	KIMOTO PM-712	R4	3
岡谷インターチェンジ	TOADKK FPM-377 (屋外型)	H23	3
コンテナ No. 1 (軽井沢町浅間台団地)			4
コンテナ No. 2 (喬木村阿島北)			2
大気環境測定車			-
機器台数	9		

精密点検対象測定機器

令和6年4月1日現在  
(1/3)

測定局名	二酸化硫黄・浮遊粒子状物質自動測定記録計		浮遊粒子状物質自動測定記録計		窒素酸化物自動測定記録計	
	機種名	整備年度	機種名	整備年度	機種名	整備年度
環境保全研究所	TOADKK GFS-327B	H26			KIMOTO NA-721	R5
松本 (松本合同庁舎)	TOADKK GFS-327C	R2			KIMOTO NA-721	H28
上田 (上田合同庁舎)			KIMOTO PM-711	H30	KIMOTO NA-721	H29
諏訪 (諏訪合同庁舎)	TOADKK GFS-327B	H26			KIMOTO NA-721	R1
大町 (大町合同庁舎)					KIMOTO NA-721	R2
飯田 (飯田合同庁舎)			KIMOTO PM-711	H30	KIMOTO NA-721	R5
伊那 (伊那合同庁舎)	TOADKK GFS-327B	H26			KIMOTO NA-721	R5
須坂 (須坂市旧上高井郡役所)						
佐久 (佐久合同庁舎)	TOADKK GFS-327C	R2			KIMOTO NA-721	R2
木曾 (木曾合同庁舎)	TOADKK GFS-327C	H28			KIMOTO NA-721	R5
小諸 (東信教育事務所)					KIMOTO NA-721	H28
中野 (中野庁舎)						
更埴インターチェンジ			TOADKK DUB-357C	H29	KIMOTO NA-721	H29
岡谷インターチェンジ			TOADKK DUB-357C	H28	KIMOTO NA-721	R2
コンテナ No. 1 (軽井沢町浅間台団地)	TOADKK GFS-327C	H29			KIMOTO NA-721	H29
コンテナ No. 2 (喬木村阿島北)			KIMOTO PM-711	H30	KIMOTO NA-721	H21
大気環境測定車	TOADKK GFS-312B (DUB-317C と共用 の記録計付き)	R5	TOADKK DUB-317C (GFS-312B と共用 の記録計付き)	R5	TOADKK GLN-314D (GUX-313B と共用 の記録計付き)	R5
機器台数	8		6		15	

- ・新機器導入等に当たり、測定機器の配置変更（移設）を行うことがある。

精密点検対象測定機器

令和6年4月1日現在  
(2/3)

測定局名	光化学オキシダント 自動測定記録計		非メタン炭化水素 自動測定記録計		一酸化炭素 自動測定記録計	
	機種名	整備 年度	機種名	整備 年度	機種名	整備 年度
環境保全研究所	TOADKK GUX-353B	H29	KIMOTO HA-771	R4		
松本 (松本合同庁舎)	TOADKK GUX-353B	R2	TOADKK GHC-355B	R1		
上田 (上田合同庁舎)	KIMOTO OA-781	R3				
諏訪 (諏訪合同庁舎)	TOADKK GUX-353B	R1				
大町 (大町合同庁舎)	KIMOTO OA-781	R3				
飯田 (飯田合同庁舎)	TOADKK GUX-353B	R1				
伊那 (伊那合同庁舎)	KIMOTO OA-781	R4				
須坂 (須坂市旧上高井郡役所)	HORIBA APOA-3700R	R5				
佐久 (佐久合同庁舎)	TOADKK GUX-353B	R4				
木曾 (木曾合同庁舎)	KIMOTO OA-781	R3				
小諸 (東信教育事務所)	KIMOTO OA-781	R3				
中野 (中野庁舎)	KIMOTO OA-781	R3				
更埴インターチェンジ						
岡谷インターチェンジ						
コンテナ No. 1 (軽井沢町浅間台団地)	KIMOTO OA-781	H28				
コンテナ No. 2 (喬木村阿島北)						
大気環境測定車	TOADKK GUX-313B (GLN-314D と共用 の記録計付き)	R5	KIMOTO HA-771	R1	TOADKK GFC-351B	R5
機器台数	14		3		1	

・新機器導入等に当たり、測定機器の配置変更（移設）を行うことがある。

精密点検対象測定機器

令和6年4月1日現在  
(3/3)

測定局名	微小粒子状物質 自動測定記録計		測定項目数
	機器名	機種名 整備 年度	
環境保全研究所			5
松本 (松本合同庁舎)	KIMOTO PM-712	R4	6
上田 (上田合同庁舎)	KIMOTO PM-712	R3	4
諏訪 (諏訪合同庁舎)			4
大町 (大町合同庁舎)			2
飯田 (飯田合同庁舎)	KIMOTO PM-712	R2	4
伊那 (伊那合同庁舎)	KIMOTO PM-712	R4	5
須坂 (須坂市旧上高井郡役所)			1
佐久 (佐久合同庁舎)			4
木曾 (木曾合同庁舎)			4
小諸 (東信教育事務所)			2
中野 (中野庁舎)			1
更埴インターチェンジ	KIMOTO PM-712	R4	3
岡谷インターチェンジ			2
コンテナ No.1 (軽井沢町浅間台団地)			4
コンテナ No.2 (喬木村阿島北)			2
大気環境測定車	TOADKK FPM-377C-2	R5	7
機器台数	6		

- ・環境保全研究所局、諏訪局、佐久局、木曾局及び岡谷 IC 局の微小粒子状物質自動測定記録計は、新機器を購入する予定のため点検対象外。
- ・新機器導入等に当たり、測定機器の配置変更（移設）を行うことがある。

別記2 点検実施頻度

測定局名	定期点検 (5～7月に実施)	精密点検 (11月～1月に実施)
環境保全研究所		年 1 回
松 本	年 1 回	年 1 回
上 田	年 1 回	年 1 回
諏 訪	年 1 回	年 1 回
大 町	年 1 回	年 1 回
飯 田	年 1 回	年 1 回
伊 那	年 1 回	年 1 回
須 坂	年 1 回	年 1 回
佐 久	年 1 回	年 1 回
木 曾	年 1 回	年 1 回
小 諸	年 1 回	年 1 回
中 野	年 1 回	年 1 回
更埴インターチェンジ	年 1 回	年 1 回
岡谷インターチェンジ	年 1 回	年 1 回
コンテナ No. 1 (軽井沢町)	年 1 回	年 1 回
コンテナ No. 2 (喬木村)	年 1 回	年 1 回
大気環境測定車		年 1 回 (2月19日以降に実施)

別記3

## 浮遊粒子状物質自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 PM-711	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ点の確認		
ろ紙	スポット輪郭確認(密着度確認)		
ろ紙	スポット間隔確認(ろ紙送り動作確認)		
本体・ろ紙	ろ紙交換(指示があった場合)		
記録紙/計器内データ	測定機の安定稼働確認		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
本体	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	分粒器(サイクロン)の清掃、Oリングの確認		
本体	機器配管の確認、清掃		
本体	線源部・採取部の清掃、ヘッド用Oリングの確認		
本体	ラインフィルタエレメントの確認		
本体	流量制御弁の確認		
本体	流量センサオフセットの点検		
総合調整	ガス漏れ試験(配管を操作した場合)		
総合調整	濃度ゼロ・スパン(等価膜)校正		

## 2 特記事項等

--

## 3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『O』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
試料流量	16.7±0.3 Lpm			
初期圧力	75±5 kPa			
試料圧力@ポンプ稼働時	初期圧力-18 kPa以上			
試料温度	45°C以下			
検出器信号(線源量)	出荷時±30%(kcps)			
SPM ゼロ係数	-			
SPM ゼロ校正時指示値	0 μg/m <sup>3</sup>			
SPM スパン係数	-			
SPM スパン校正時指示値	(μg/m <sup>3</sup> )			等価膜校正値(μg)
流量 ゼロ値	-			
流量センサオフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
流量 スパン係数	-			
基準流量計との比較試験結果	(Lpm)			基準流量計流量(Lpm)
大気圧	(kPa)@ポンプ稼働時			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

別記3

### 浮遊粒子状物質自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 PM-711	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

#### 4 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 浮遊粒子状物質自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK DUB-317()	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
ろ紙	スポット輪郭確認(密着度確認)		
ろ紙	スポット間隔確認(ろ紙送り動作確認)		
本体・ろ紙	ろ紙交換(指示があった場合)		
記録紙/計器内データ	測定機の安定稼働確認		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
ポンプユニット	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	ダストトラップ・分粒器部の清掃、Oリングの確認		
本体	機器配管の確認、清掃		
本体	線源セルの清掃		
ポンプユニット	流量制御弁の確認		
本体	基準流量計による流量確認、調整(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験(配管を操作した場合)		
総合調整	等価膜校正		

## 2 特記事項等

--

## 3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
ベータ線カウント値	C型:8000以上			
ノイズ電圧	700mV以下			
セル温度	45℃以下			
セル圧力	55~95kPa			
試料流量	18.0±0.5L/min			
計器内部温度	45℃以下			
等価膜測定値(校正前の値)	(mg/m <sup>3</sup> )			等価膜値: mg/m <sup>3</sup>
スパン係数	通常0.9~1.3かつ前回値±0.02			
基準流量計との比較結果 試料流量	基準流量計と一致かつ18L/min			基準流量計指示値: L/min
流量補正係数	—			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

別記3

### 浮遊粒子状物質自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK DUB-317( )	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

#### 4 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 二酸化硫黄自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	東亜DKK GFS-352型	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

### 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	計測器内部配管・バルブの確認、清掃(交換)		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
校正ガス調整装置	オーバーフロー流量確認(校正器稼働時)		
校正ガス調整装置	シリカゲル・吸着剤確認(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験(配管類を操作した場合)		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		

### 2 特記事項等

--

### 3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※	備考
PMT出力電圧(スパン導入時)	1ppmで約2000mV			SO2濃度: ppb
ランプ出力電圧	1000~2000mV			
ランプ出力電圧トリマ出力値	—			
PMT温度	約45°C			
計器内部温度	45°C以下			
試料圧力(測定状態)	70~110kPa			
試料圧力(ポンプ停止時)	周囲圧力±10kPa以内			周囲圧力: kPa
試料流量	500~1000mL/min			
ゼロ偏差	0±0.05ppm以内			
スパン係数	0.5~1.2			
高圧出力	700~900V			
校正器オーバーフロー(校正器稼働時)	2.0~2.5L/min	-		
スパンガス1次圧	1MPa以上	-		
スパンガス2次圧	0.04~0.06MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

### 4 ゼロ・スパンの確認及び記録計出力の確認(・調整)

導入ガス	設定濃度(ppb)	機器表示(ppb)
ゼロ	0	
スパン		

別記3

二氧化硫自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK GFS-352型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 5 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 微小粒子状物質自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年	月	日	時	分	点検者	
機種	紀本 PM-712	終了日時	年	月	日	時	分		
製造番号		製造年月	年	月					

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
ミストラップ	ミストラップの点検、清掃		
PM10インレット	PM10インレット、試料大気導入管の分解清掃		
パーチャルインパクター	パーチャルインパクターの分解清掃、消耗品交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認		
本体・ろ紙	ろ紙交換(指示があった場合)		
本体・ろ紙	捕集部開閉、ろ紙巻き取り動作目視確認		
ろ紙	スポット輪郭確認(密着度確認)		
ろ紙	スポット間隔確認(ろ紙送り動作確認)		
記録紙/計器内データ	測定機の安定稼働確認		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
本体	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	機器配管の確認、清掃		
本体	線源部・採取部の清掃、ヘッド用Oリングの確認		
本体	ラインフィルタエレメント1, 2の確認		
本体	流量制御弁の確認		
本体	流量のゼロ点検、校正		
本体	基準流量計による流量のスパン点検、校正		
総合調整	ガス漏れ試験(配管を操作した場合)		
総合調整	濃度ゼロ・スパン(等価膜)校正		

## 2 特記事項等

--

別記3

微小粒子状物質自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 PM-712	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
PM2.5側試料流量	15.4±1 Lpm			制御電圧: mV
PMc側試料流量	1.3±0.3 Lpm			制御電圧: mV
PM2.5側検出器信号(線源量)	出荷時±30%(kcps)			HV: V
機内温度	(°C)			
初期圧力	(kPa)			
試料圧力@ポンプ稼働時	初期圧力-18 kPa以上			
試料温度	(°C)			
試料湿度	(%)			
大気圧力	(kPa)			
大気温度	(°C)			
大気湿度	(%)			
PM2.5 ゼロ係数	-			
PM2.5 ゼロ校正時指示値	0 μg/m <sup>3</sup>			
PM2.5 スパン係数	-			
PM2.5 スパン校正時指示値	(μg/m <sup>3</sup> )			等価膜校正値: μg
PM2.5側 試料流量 ゼロ	-			
PM2.5側 試料流量 スパン	-			
流量1(PM2.5)センサオフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
PM2.5側流量 基準流量計との比較試験結果	(Lpm)			基準流量計流量: Lpm
PMc側 試料流量 ゼロ	-			
PMc側 試料流量 スパン	-			
流量2(PMc)センサオフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
PMc側流量 基準流量計との比較試験結果	(Lpm)			基準流量計流量: Lpm

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

4 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 微小粒子状物質自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK FPM-377	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
ドレントラップ	ドレントラップの点検、清掃		
インレット部	PM10インレット・インパクター・ダウンパイプの分解清掃		
PM2.5分粒器部	PM2.5分粒器部の分解清掃		
除湿装置	内壁の点検・清掃		
除湿装置	動作確認、ヒーター温度確認		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
本体・ろ紙	ろ紙交換(指示があった場合)		
本体・ろ紙	捕集部開閉、ろ紙巻取り動作目視確認		
ろ紙	スポット輪郭確認(密着度確認)		
ろ紙	スポット間隔確認(ろ紙送り動作確認)		
記録紙/計器内データ	測定機の安定稼働確認		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
ポンプユニット	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	機器配管の確認、清掃		
本体	線源セル・検出セルの汚れ確認(清掃)		
ポンプユニット	流量制御弁の確認		
本体・ポンプ	基準流量計による流量確認、調整		
温度・湿度・気圧計	温度・湿度・気圧計の点検、校正		
屋外型フィルター	屋外型フィルターの点検、清掃		
総合調整	ガス漏れ試験(配管を操作した場合)		
総合調整	等価膜校正		

## 2 特記事項等

--

別記3

## 微小粒子状物質自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK FPM-377	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※	備考
ベータ線カウント値	前回値±10%			
ノイズ電圧	800mV以下			
セル温度	45℃以下			
セル圧力	55～95kPa			
試料流量	15～19L/min			
外気温度	-10～40℃			
外気温度補正係数	-10.0～10.0℃			基準計指示値: °C
外気湿度	0～100%			
外部湿度補正係数	-20～20%			基準計指示値: %
周囲圧力	90～110kPa			
周囲圧力補正係数	-10.0～10.0kPa			基準計指示値: kPa
ヒータ温度	70℃以下			
試料実流量	16.7±0.3L/min			
積算流量	0～1000L			
計器内部温度	45℃以下			
等価膜測定値(等価膜校正前の値)	(mg/m <sup>3</sup> )			等価膜値: mg/m <sup>3</sup>
スパン係数	通常0.9～1.3かつ前回値±0.02			
流量補正係数	(L/min)			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

## 4 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

光化学オキシダント自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	紀本 OA-781	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動ゼロ校正の実施状況確認		
本体	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	計測器内部配管・電磁弁の確認、清掃(交換)		
本体	フィルターケース清掃、フィルター交換		
本体	オゾン分解効率の確認(対象機種のみ)		
総合調整	ガス漏れ試験(配管を操作した場合)		
総合調整	自動ゼロガスによるゼロ値の確認		

2 特記事項等

--

3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『O』をつける。(例: O100)

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
光源部温度	50±5°C			
試料温度	0~50°C(室温程度)			
試料圧力	85~105 kPa@ポンプ稼働時			
試料流量	800±100 ccpm			
検出器出力	500~2000kcps			ランプ交換時は検出器orリファレンス信号の大きい方を1600~1800kcpsに合わせる
リファレンス出力	500~2000kcps			
Mes/Ref	—			
試料流量センサ オフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
圧力センサ 圧力指示値	周囲圧力±10 kPa@ポンプ停止時			基準気圧計指示値: kPa
圧力センサ オフセット(電圧値)	(mV)@ポンプ停止時			
O3ゼロ補正值	(ppm)			
O3スパン係数	—			
オフセット Meas	—			
オフセット Ref	—			
試料流量ゼロ係数	—			
試料流量スパン係数	—			
圧力センサ オフセット	—			
自動ゼロガス導入時の指示値	-4~8ppb			

(注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

4 記録計出力の確認・調整

	設定濃度(ppb)	機器表示(ppb)	記録計表示(ppb)	記録計表示調整後(ppb)
ゼロガス				
最高濃度	-			

記録計出力調整機能がない機器はゼロガスと点検前約1週間の最高濃度測定時の機器表示と記録計表示を比較する。

別記3

## 光化学オキシダント自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 OA-781	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 5 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 光化学オキシダント自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年	月	日	時	分	点検者
機種	堀場 AOPA-3700R	終了日時	年	月	日	時	分	
製造番号		製造年月	年	月				

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整・記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動ゼロ校正(AIC)の実施状況確認		
本体	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	計測器内部配管・バルブの確認、清掃(交換)		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
総合調整	ガス漏れ試験(配管類を操作した場合)		
総合調整	内部ゼロガスによるゼロ値の確認		

## 2 特記事項等

--

## 3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『O』をつける。(例: O100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※	備考
信号(O3) 電圧値	(mV)			
ランプ 光量電圧値	200mV以上			
セル 温度	周辺温度 +5~15℃			周辺温度(℃)
ポンプ 吸引圧	65kPa以下			
大気圧	(kPa)			大気圧(kPa)
サンプル 流量	0.5~0.9L/min			
ゼロ校正係数	-			
スパン校正係数	-			
内部ゼロガス導入時の指示値	-4~8ppb			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

## 4 記録計出力の確認・調整

	設定濃度(ppb)	機器表示(ppb)	記録計表示(ppb)	記録計表示調整後(ppb)
ゼロガス	0			
最高濃度	-			

記録計出力調整機能がない機器はゼロガスと点検前約1週間の最高濃度測定時の機器表示と記録計表示を比較する。

## 5 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 光化学オキシダント自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	東亜DKK GUX-353B型	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動ゼロ校正の実施状況確認		
本体	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	計測器内部配管・バルブの確認、清掃(交換)		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
本体	入力電圧ゲインの確認・調整(ランプ交換)		
自動ゼロガス精製部	薬品確認(PC・PF吸着剤の交換)		
総合調整	ガス漏れ試験(配管類を操作した場合)		
総合調整	自動ゼロガスによるゼロ値の確認		

## 2 特記事項等

--

## 3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※	備考
検出器出力電圧(M)	-			
検出器出力電圧(R)	1000mV以上			ランプ交換後は1800~2200mV
参照光出力電圧	1000mV以上			ランプ交換後は1800~2200mV
試料温度	30~40℃			
光源ランプ温度	52~58℃			
オゾン分解器温度	52~58℃			
計器内部温度	45℃以下			
試料圧力	約95kPa			
試料流量	1600~2000mL/min			
ゼロ偏差	-			
スパン係数	-			
入力ゲイン電圧(トリマ出力値)	-			
自動ゼロガス導入時の指示値	-4~8ppb			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

## 4 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 窒素酸化物自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	紀本 NA-721	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	計測器内部配管・電磁弁の確認、清掃(交換)		
本体	フィルターケース清掃、フィルター交換		
本体	試料流量センサのオフセット調整		
本体	オゾン試料流量センサーのオフセット調整		
総合調整	ガス漏れ試験(配管を操作した場合)		

## 2 特記事項等

--

## 3 測定パラメーター

※1 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※1	備考
検出器温度	5 °C程度			
反応層温度	50 °C程度			
コンバータ温度	300±30 °C			
発生器温度	-10~60°C			
試料圧力	27±2 kPa			
圧力制御	(mV)			
試料流量	550±100 ccpm			
オゾン流量	50±10 ccpm			
高電圧	-1100~-300V			
DS圧力	約30kPa@DS稼働時			
試料圧力 オフセット	大気圧±10 kPa@ポンプ停止時			大気圧( kPa)
試料圧力 オフセット(電圧値)	(mV)@ポンプ停止時			
試料流量センサ オフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
オゾン流量センサ オフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
ゼロ補正值:NO	-			
ゼロ補正值:NOx	-			
スパン係数:NO	-			
スパン係数:NOx	-			
試料流量 ゼロ/スパン	-			
オゾン流量 ゼロ/スパン	-			
圧力センサ オフセット	-			
スパンガス1次圧	1MPa以上			
スパンガス2次圧	約0.1MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

別記3

### 窒素酸化物自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 NA-721	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

#### 4 ゼロ・スパンの確認及び記録計出力の確認(・調整)

導入ガス	設定濃度(ppb)	機器表示(ppb)	記録計表示(ppb)
NO ゼロ	0		
NOx ゼロ	0		
NO スパン			
NOx スパン			

#### 5 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

窒素酸化物自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK GLN-354D型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	計測器内部配管・電磁弁の確認、清掃(交換)		
本体	フィルターケース清掃、フィルター交換		
本体	吸着筒アセンブリーの交換		
校正ガス調整装置	シリカゲル・吸着剤確認(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験(配管類を操作した場合)		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		

2 特記事項等

--

3 測定パラメーター

※1 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※1	備考
PMT出力電圧(NO):スパン導入時	1ppmで約1000mV			NO濃度: ppb
PMT出力電圧(NOx):スパン導入時	1ppmで約1000mV			NOx濃度: ppb
セル温度	50°C(45~55)			
コンバータ温度	170°C(165~175)			
PMT温度	5 °C(5~10)			
計器内温度	45°C以下			
試料圧力(測定状態)	45kPa(30~60)			
試料流量	1200mL/min(800~1800)			
オゾン流量	200mL/min(100~300)			
ゼロ偏差:NO	前回との差が±4%の範囲内			
ゼロ偏差:NOx	前回との差が±4%の範囲内			
スパン係数:NO	前回との変化率が±4%の範囲内			
スパン係数:NOx	前回との変化率が±4%の範囲内			
高圧出力	600~800V			
校正器オーバーフロー(校正器稼働時)	2.0~2.5L/min			
スパンガス1次圧	1MPa以上			
スパンガス2次圧	約0.1MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

別記3

### 窒素酸化物自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK GLN-354D型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

#### 4 ゼロ・スパンの確認及び記録計出力の確認(・調整)

導入ガス	設定濃度(ppb)	機器表示(ppb)	記録計表示(ppb)
NO ゼロ	0		
NOx ゼロ	0		
NO スパン			
NOx スパン			

#### 5 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 非メタン炭化水素自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年	月	日	時	分	点検者
機種	紀本 HA-771	終了日時	年	月	日	時	分	
製造番号		製造年月	年	月				

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃)		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	流路配管・継ぎ手類・流路切換弁の確認		
本体	検出部(FIDセル)の確認(清掃)		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
本体(分析部)	スペクトルの確認(調整)		
ポンプユニット	圧送ポンプ動作(音、振動)確認		
ポンプユニット	吸引ポンプ動作(音、振動)・流量確認		
ポンプユニット	助燃空気ラインフィルタの汚れ確認		
水素発生器	純水の水位確認・補充、イオン交換樹脂確認(交換)		
水素発生器	乾燥剤の確認(交換)		
N2ガスポンベ	N2キャリアガス残圧確認・2次圧確認調整		
総合調整	ガス漏れ試験(配管類を操作した場合)		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		

## 2 特記事項等

--

## 3 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 非メタン炭化水素自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	紀本 HA-771	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

## 4 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※	備考
オープン温度	65±10℃			
精製器温度	350±30℃			
キャリア圧力	設定圧力±5kPa			設定圧力: kPa
バーナエア流量	650±100ccpm			
H2流量	設定流量±5ccpm			設定流量: ccpm
助燃空気圧力	0.08±0.01MPa			
CH4 ゼロ偏差				
CH4 スパン係数				
CH4 ゲート				
CH4 取込み				
NMHC ゼロ偏差				
NMHC スパン係数				
NMHC ゲート				
NMHC 取込み				
ベース NMHC				
サンプル時間				
CH4/NMHC 応答比				
バーナエア流量 ゼロ				
バーナエア流量 スパン				
バーナエア流量 オフセット	500±			
水素発生器圧力	15kPa(×10)			
窒素ガスポンベ1次圧(残圧)	2.0 MPa以上			
窒素ガスポンベ2次圧	約0.2MPa			
スパンガスポンベ1次圧(残圧)	1.0 MPa以上			
スパンガスポンベ2次圧	約0.05 MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

## 5 ゼロスパン値の確認及び記録計出力確認

※ ゼロはサンプルラインをゼロモード(N2)の時の測定器表示、スパンはスパンガス測定時の測定器表示と記録計表示を比較する

導入ガス	設定濃度(ppmC)	機器表示(ppmC)	記録計表示(ppmC)
CH4 ゼロ	0		
NMHC ゼロ	0		
CH4 スパン			
NMHC スパン			

## 6 クロマトグラム

表示画面の写真を撮り添付すること

別記3

## 非メタン炭化水素自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年	月	日	時	分	点検者
機種	東亜DKKGHC-355B型	終了日時	年	月	日	時	分	
製造番号		製造年月	年	月				

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃)		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	流路配管・継ぎ手類の確認		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
本体(分析部)	クロマトグラム確認		
本体(前処理部)	サンプリングポンプ動作(音、振動)確認		
本体(前処理部)	フィルターレギュレーターの水抜き		
コンプレッサー	外付けコンプレッサー動作確認		
コンプレッサー	外付けコンプレッサー水抜き		
水素発生器	純水の水位確認・補充、イオン交換樹脂確認(交換)		
水素発生器	乾燥剤の確認(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験(配管類を操作した場合)		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		

## 2 特記事項等

--

## 3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※	備考
オープン温度	59~61℃			
計器内部温度	45℃以下			
試料流量	300 mL/min以上			通常測定時流量
試料圧力	約100 kPa			
CH4 ゼロ偏差	約0.0000(前回値との差±0.1ppmC)			
NMHC ゼロ偏差	約0.0000(前回値との差±0.1ppmC)			
スパン係数	約1.0000(前回値との差±10%以内)			
スパン補正係数	約1.0000(前回値との差±10%以内)			
助燃空気圧力	0.06 MPa			
計器内水素ガス圧力	0.10 MPa			
計器内窒素ガス圧力	0.20 MPa			
水素発生器圧力	20 kPa(×10)			
窒素ガスポンベ1次圧(残圧)	2.0 MPa以上			
窒素ガスポンベ2次圧	0.3~0.31 MPa			
スパンガスポンベ1次圧(残圧)	1.0 MPa以上			
スパンガスポンベ2次圧	0.05 MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

別記3

## 非メタン炭化水素自動測定記録計 定期点検記録簿

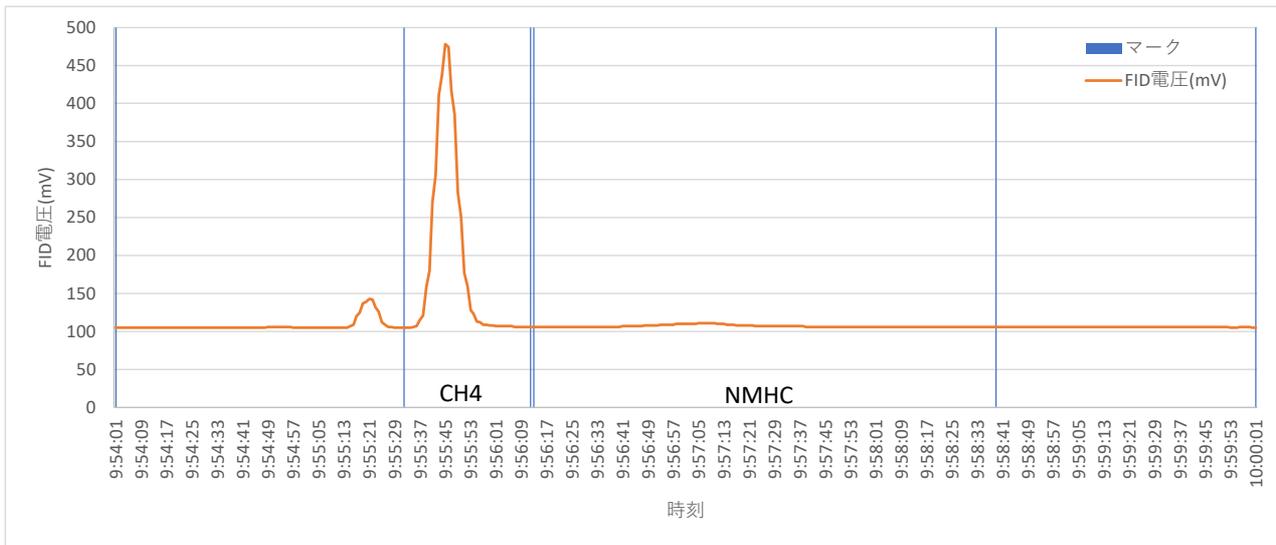
測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKKGHC-355B型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 4 ゼロ・スパンの確認及び記録計出力の確認・調整

導入ガス	設定濃度(ppmC)	機器表示(ppmC)	記録計表示(ppmC)
CH4 ゼロ	0		
NMHC ゼロ	0		
CH4 スパン			
NMHC スパン			

NMHCはC3H8を使用

## 5 クロマトグラム



## 6 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 一酸化炭素自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	東亜DKK GFC-351B型	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	採気管の目視確認(折れ、漏れ、詰り、汚れ)・清掃		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	ポンプ動作(音、振動)確認		
本体	計測器内部配管・継ぎ手類の確認、清掃(交換)		
本体	オーバーフロー流量の確認(調整)		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
総合調整	ガス漏れ試験(配管類を操作した場合)		
総合調整	内部ゼロ値更新の実行		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		

## 2 特記事項等

--

## 3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※	備考
Meas値	2000~3500mV			
Ref値	1400~2800mV			
M/R値	1.2(1.05~1.25)			
計器内部温度	45℃以下			
セル温度	45℃(42~48)			
ホイール温度	65℃(62~68)			
検出器温度	52~58℃			
ホイール回転数	約95kPa			
試料流量	1600~2000mL/min			
ゼロ偏差	-			
スパン係数	-			
内部ゼロ値	-			
オーバーフロー流量	0.5L/min			
スパンガス1次圧	1MPa以上			
スパンガス2次圧	約0.05MPa			
ゼロガス1次圧	1MPa以上			
ゼロガス2次圧	約0.05MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

## 4 ゼロ・スパンの確認及び記録計出力の確認(・調整)

導入ガス	設定濃度(ppb)	機器表示(ppb)	記録計表示(ppb)
ゼロ	0		
スパン			

別記3

## 一酸化炭素自動測定記録計 定期点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK GFC-351B型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 5 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

浮遊粒子状物質自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 PM-711	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ点の確認		
ろ紙	スポット輪郭確認(密着度確認)		
ろ紙	スポット間隔確認(ろ紙送り動作確認)		
本体・ろ紙	ろ紙交換(指示があった場合)		
記録紙/計器内データ	測定機の安定稼働確認		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
本体	ポンプの動作確認、分解清掃、消耗品交換		
本体	分粒器(サイクロン)の清掃、Oリングの確認(交換)		
本体	機器配管の確認、清掃(交換)		
本体	線源部・採取部の清掃、ヘッド用Oリングの確認(交換)		
本体	ラインフィルタエレメントの確認(交換)		
本体	流量制御弁の確認(交換)		
本体	流量センサオフセットの点検		
本体	基準流量計による流量確認、調整(交換)		
本体	圧力センサの確認・校正(交換)		
本体	ヘッドアップ電磁弁の確認(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	濃度ゼロ・スパン(等価膜)校正		
総合調整	空試験		

2 特記事項等

別記3

浮遊粒子状物質自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 PM-711	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『O』をつける。(例: O100)

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
試料流量	16.7±0.3 Lpm			
初期圧力	75±5 kPa			
試料圧力@ポンプ稼働時	初期圧力-18 kPa以上			
試料温度	45°C以下			
検出器信号(線源量)	出荷時±30%(kcps)			
SPM ゼロ係数	-			
SPM ゼロ校正時指示値	0 μg/m <sup>3</sup>			
SPM スパン係数	-			
SPM スパン校正時指示値	(μg/m <sup>3</sup> )			等価膜校正値( μg)
流量 ゼロ値	-			
流量センサオフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
流量 スパン係数	-			
基準流量計との比較試験結果	(Lpm)			基準流量計流量( Lpm)
圧力 オフセット	-			
大気圧	(kPa)@ポンプ稼働時			
試料圧力@ポンプ停止時	大気圧±5 kPa			大気圧( kPa)

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

4 空試験結果

時刻	測定値	時刻	測定値
11		23	
12		24	
13		1	
14		2	
15		3	
16		4	
17		5	
18		6	
19		7	
20		8	
21		9	
22		10	

集計項目	集計値
最小値	0
最大値	0
平均値	#DIV/0!
標準偏差σ	#DIV/0!
1.96σ ±24時間の 平均値	
データ個数	0個
判定基準1	
判定基準2	

・判定基準1: 平均値が±10 μg/m<sup>3</sup>以下で、かつ最大最小値が0±20 μg/m<sup>3</sup>以内であること

・判定基準2: (1.96σ±24時間の平均値)が±20 μg/m<sup>3</sup>以内であること

5 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 浮遊粒子状物質自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK DUB-357( )	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
ろ紙	スポット輪郭確認(密着度確認)		
ろ紙	スポット間隔確認(ろ紙送り動作確認)		
本体・ろ紙	ろ紙交換(指示があった場合)		
記録紙/計器内データ	測定機の安定稼働確認		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
ポンプユニット	ポンプの動作確認、分解清掃、消耗品交換		
本体	ダストラップ・分粒器部の清掃、Oリングの確認(交換)		
本体	機器配管の確認、清掃(交換)		
本体	線源セル・検出セルの清掃		
ポンプユニット	流量制御弁の清掃		
本体	流量センサーの清掃		
本体	基準流量計による流量確認、調整(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	等価膜校正		
総合調整	空試験		

## 2 特記事項等

--



別記3

## 二氧化硫自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKKGFS-352型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

### 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	ポンプの動作確認、分解清掃、ダイヤフラム/弁交換		
本体	計測器内部配管・バルブの確認、清掃、交換		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
本体	基準流量計による流量確認、調整		
本体	圧力センサーの確認試験(交換)		
本体	HCカッターアセンブリー交換		
本体	ドライヤユニット確認(交換)		
本体	光源ランプ出力電圧の確認(ランプ交換)		
校正ガス調整装置	オーバーフロー流量確認(校正器稼働時)		
校正ガス調整装置	シリカゲル・吸着剤・フィルター2交換		
校正ガス調整装置	フィルター1確認(交換)		
校正ガス調整装置	ポンプの動作確認、分解清掃(ダイヤフラム/弁交換)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		
総合調整	再現性確認試験		

### 2 特記事項等

--



別記3

## 微小粒子状物質自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 PM-712	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
ミストラップ	ミストラップの点検、清掃		
PM10インレット	PM10インレット、試料大気導入管の分解清掃、消耗品交換		
バーチャルインパクター	バーチャルインパクターの分解清掃、消耗品交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認		
本体・ろ紙	ろ紙交換(指示があった場合)		
本体・ろ紙	捕集部開閉、ろ紙巻取り動作目視確認		
ろ紙	スポット輪郭確認(密着度確認)		
ろ紙	スポット間隔確認(ろ紙送り動作確認)		
記録紙/計器内データ	測定機の安定稼働確認		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
本体	ポンプの動作確認、分解清掃、消耗品交換		
本体	機器配管の確認、清掃(交換)		
本体	線源部・採取部の清掃、ヘッド用Oリングの確認(交換)		
本体	ラインフィルタエレメント1、2の確認(交換)		
本体	流量制御弁の確認(交換)		
本体	流量のゼロ点検、校正(センサー交換)		
本体	基準流量計による流量のスパン点検、校正(センサー交換)		
本体	圧力センサ1、2の確認、校正(交換)		
本体	温湿度センサ1、2の確認、校正(交換)		
本体	ヘッドアップ電磁弁の確認(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	濃度ゼロ・スパン(等価膜)校正		
総合調整	空試験		

## 2 特記事項等

--

## 3 交換部品 (部品名、数量などを記載)


## 4 測定パラメータ

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『O』をつける。(例: O100)

別記3

## 微小粒子状物質自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 PM-712	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
PM2.5側試料流量	15.4±1 Lpm			制御電圧: mV
PMc側試料流量	1.3±0.3 Lpm			制御電圧: mV
PM2.5側検出器信号(線源量)	出荷時±30%(kcps)			HV: V
機内温度	(°C)			
初期圧力	(kPa)			
試料圧力@ポンプ稼働時	初期圧力-18 kPa以上			
試料温度	(°C)			
試料湿度	(%)			
大気圧力	(kPa)			
大気温度	(°C)			
大気湿度	(%)			
PM2.5 ゼロ係数	-			
PM2.5 ゼロ校正時指示値	0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$			
PM2.5 スパン係数	-			
PM2.5 スパン校正時指示値	( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )			等価膜校正値: $\mu\text{g}$
PM2.5側 試料流量 ゼロ	-			
PM2.5側 試料流量 スパン	-			
流量1(PM2.5)センサオフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
PM2.5側流量 基準流量計との比較試験結果	(Lpm)			基準流量計流量: Lpm
PMc側 試料流量 ゼロ	-			
PMc側 試料流量 スパン	-			
流量2(PMc)センサオフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
PMc側流量 基準流量計との比較試験結果	(Lpm)			基準流量計流量: Lpm
圧力 オフセット 試料	-			
圧力 オフセット 大気	-			
圧力計校正 試料圧力@ポンプ停止時	バロメータ指示値±10 kPa			バロメータ指示値: kPa
圧力計校正 大気圧力	(kPa)			バロメータ指示値: kPa

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

## 5 空試験結果

時刻	測定値	時刻	測定値
11		23	
12		24	
13		1	
14		2	
15		3	
16		4	
17		5	
18		6	
19		7	
20		8	
21		9	
22		10	

集計項目	集計値
最小値	0
最大値	0
平均値	#DIV/0!
標準偏差σ	#DIV/0!
1.96σ ±24時間の 平均値	
データ個数	0個
判定基準1	
判定基準2	

・判定基準:平均値が±2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以内、標準偏差が±3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以内であること

別記3

## 微小粒子状物質自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK FPM-377	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部 位	点 検 事 項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
ドレトラップ	ドレトラップの点検、清掃		
インレット部	PM10インレット・インパクター・ダウンパイプの分解清掃、消耗品交換		
PM2.5分粒器部	PM2.5分粒器部の分解清掃、消耗品交換		
除湿装置	内壁の点検・清掃、Oリング類の確認(交換)		
除湿装置	動作確認、ヒーター温度確認		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
本体・ろ紙	ろ紙交換(指示があった場合)		
本体・ろ紙	捕集部開閉、ろ紙巻取り動作目視確認		
ろ紙	スポット輪郭確認(密着度確認)		
ろ紙	スポット間隔確認(ろ紙送り動作確認)		
記録紙/計器内データ	測定機の安定稼働確認		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
ポンプユニット	ポンプの動作確認、分解清掃、消耗品交換		
本体	機器配管の確認、清掃(交換)		
本体	線源セル・検出セルの分解清掃		
ポンプユニット	流量制御弁の清掃		
本体	流量計の清掃		
本体・ポンプ	基準流量計による流量確認、調整		
温度・湿度・気圧計	温度・湿度・気圧計の点検、校正(湿度センサー交換)		
屋外型フィルター	屋外型フィルターの点検、交換		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	等価膜校正		
総合調整	空試験		

## 2 特記事項等

--

別記3

微小粒子状物質自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK FPM-377	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

測定局名		開始日時	
機種	東亜DKK FPM-377	終了日時	
製造番号		製造年月	

3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※	備考
ベータ線カウント値	前回値±10%			
ノイズ電圧	800mV以下			
セル温度	45℃以下			
セル圧力	55~95kPa			
試料流量	15~19L/min			
外気温度	-10~40℃			
外気温度補正係数	-10.0~10.0℃			基準計指示値: °C
外気湿度	0~100%			
外部湿度補正係数	-20~20%			基準計指示値: %
周囲圧力	90~110kPa			
周囲圧力補正係数	-10.0~10.0kPa			基準計指示値: kPa
ヒータ温度	70℃以下			
試料実流量	16.7±0.3L/min			
積算流量	0~1000L			
計器内部温度	45℃以下			
等価膜測定値(等価膜校正前の値)	(mg/m <sup>3</sup> )			等価膜値: mg/m <sup>3</sup>
スパン係数	通常0.9~1.3かつ前回値±0.02			
流量補正係数	(L/min)			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

4 空試験結果

時刻	測定値	時刻	測定値	時刻	測定値
11		23		11	
12		24		12	
13		1		13	
14		2		14	
15		3		15	
16		4		16	
17		5		17	
18		6		18	
19		7		19	
20		8		20	
21		9		21	
22		10		22	

集計項目	集計値
最小値	0
最大値	0
平均値	#DIV/0!
標準偏差σ	#DIV/0!
データ個数	0個
判定	

・判定基準：平均値が±2μg/m<sup>3</sup>以内、標準偏差が±3μg/m<sup>3</sup>以内であること

別記3

微小粒子状物質自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK FPM-377	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

5 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

光化学オキシダント自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	紀本 OA-781	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動ゼロ校正の実施状況確認		
本体	ポンプの動作確認、分解清掃、ダイヤフラム/弁交換		
本体	計測器内部配管・電磁弁の確認、清掃(交換)		
本体	試料セルの清掃		
本体	フィルターケース清掃、フィルター交換		
本体	試料流量センサのオフセット調整		
本体	基準流量計による流量確認、調整(交換)		
本体	圧力センサの確認試験(交換)		
本体	オゾン分解効率の確認(対象機種のみ)		
本体	光源ランプの交換		
本体	オゾン分解器エレメント		
本体	除湿器確認(交換)		
本体	オゾン処理器1の確認(交換)		
校正ガス調整装置	ゼロガス精製器確認(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	自動ゼロガスによるゼロ値の確認		

2 特記事項等



別記3

光化学オキシダント自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	堀場 AOPA-3700R	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動ゼロ校正(AIC)の実施状況確認		
本体	ポンプの動作確認、分解清掃、ダイヤフラム組交換		
本体	計測器内部配管・バルブの確認、清掃、交換		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
本体	基準流量計による流量確認、調整		
本体	圧力センサーの確認試験(交換)		
本体	DOパイプの交換		
本体	UVランプ交換		
本体	交換した部品のアワーメーターを設定		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	内部ゼロガスによるゼロ値の確認		

2 特記事項等

3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『O』をつける。(例: O100)

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
信号(O3) 電圧値	(mV)			
ランプ 光量電圧値	200mV以上			
セル 温度	周辺温度 +5~15℃			周辺温度( °C)
ポンプ 吸引圧	65kPa以下			
大気圧	(kPa)			大気圧( kPa)
サンプル 流量	0.5~0.9L/min			
試料流量(基準流量計との比較)	-			基準流量計流量( L/min)
ゼロ校正係数	-			
スパン校正係数	-			
内部ゼロガス導入時の指示値	-4~8ppb			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。



別記3

## 光化学オキシダント自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK GUX-353B型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動ゼロ校正の実施状況確認		
本体	ポンプの動作確認、分解清掃、ダイヤフラム/弁交換		
本体	計測器内部配管・バルブの確認、清掃、交換		
本体	セル管、セル窓の清掃		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
本体	基準流量計による流量確認、調整		
本体	圧力センサーの確認試験(交換)		
本体	オゾン分解器触媒の交換		
本体	光源ランプ交換、入力電圧ゲイン調整		
自動ゼロガス精製部	薬品確認(PC・PF吸着剤の交換)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	自動ゼロガスによるゼロ値の確認		

## 2 特記事項等

--



別記3

窒素酸化物自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	紀本 NA-721	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	ポンプの動作確認、分解清掃、ダイヤフラム/弁交換		
本体	計測器内部配管・電磁弁の確認、清掃、交換		
本体	フィルターケース清掃、フィルター交換		
本体	試料流量センサのオフセット調整		
本体	基準流量計による流量確認、調整		
本体	オゾン試料流量センサーのオフセット調整		
本体	圧力センサの確認試験(交換)		
本体	コンバータ管の確認(交換)		
本体	ゼロガス精製器交換		
本体	オゾン処理器触媒・フィルターキット交換		
本体	試料流路除湿器確認(交換)		
本体	バイパスフィルター清掃(交換)		
本体	放熱ファンフィルター清掃(交換)		
本体	オゾン流路除湿器確認(交換)		
本体	試料オリフィスの確認(交換)		
校正ガス調整装置	ポンプ分解清掃、ダイヤフラム/弁確認(交換)		
校正ガス調整装置	除湿器の確認(交換)		
校正ガス調整装置	ゼロガス精製器確認(交換)		
校正ガス調整装置	浄化器Aの確認(交換)		
校正ガス調整装置	浄化器Bの確認(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		
総合調整	再現性確認試験		

2 特記事項等

別記3

## 窒素酸化物自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 NA-721	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 3 測定パラメーター

※1 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※1	備考
検出器温度	5℃程度			
反応層温度	50℃程度			
コンバータ温度	300±30℃			
発生器温度	-10~60℃			
試料圧力	27±2 kPa			
圧力制御	(mV)			
試料流量	550±100 ccpm			
オゾン流量	50±10 ccpm			
高電圧	-1100~-300V			
DS圧力	約30kPa@DS稼働時			
試料圧力 オフセット	大気圧±10 kPa@ポンプ停止時			大気圧( kPa)
試料圧力 オフセット(電圧値)	(mV)@ポンプ停止時			
試料流量センサ オフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
試料流量計の比較試験結果	(ccpm)			基準流量計流量( ccpm)
オゾン流量センサ オフセット	500±200mV@ポンプ停止時			
ゼロ補正值:NO	-			
ゼロ補正值:NOx	-			
スパン係数:NO	-			
スパン係数:NOx	-			
試料流量 ゼロ/スパン	-			
オゾン流量 ゼロ/スパン	-			
圧力センサ オフセット	-			
スパンガス1次圧	1MPa以上			
スパンガス2次圧	約0.1MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

## 4 再現性確認結果

導入ガス	設定濃度(ppb)	1回目(ppb)	2回目(ppb)	3回目(ppb)	平均値
NO ゼロ	0				#DIV/0!
NOx ゼロ	0				#DIV/0!
NO スパン					#DIV/0!
NOx スパン					#DIV/0!

## 5 記録計出力の確認(・調整) (4再現性確認と同時に実施してもよい)

導入ガス	設定濃度(ppb)	機器表示(ppb)	記録計表示(ppb)
NO ゼロ	0		
NOx ゼロ	0		
NO スパン			
NOx スパン			

## 6 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

窒素酸化物自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK GLN-354D型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	ポンプの動作確認、分解清掃、ダイヤフラム/弁交換		
本体	基準流量計による流量確認		
本体	計測器内部配管・電磁弁の確認、清掃、交換		
本体	フィルターケース清掃、フィルター交換		
本体	吸着筒アセンブリーの交換		
本体	排ガス処理触媒タンクの交換		
本体	コンバーター管の触媒交換		
本体	ミニトラップフィルターの交換		
本体	カートリッジフィルターの交換		
本体	キャピラリー用フィルターの交換		
本体	オゾンクリーナーの交換		
本体	試料用ドライヤーユニットの交換		
本体	オゾン用ドライヤーユニットの(確認)交換		
本体	オゾン発生器の点検		
本体	PMT冷却ファンの動作確認、フィルターの交換		
校正ガス調整装置	シリカゲル・吸着剤・フィルター1、2交換		
校正ガス調整装置	ポンプの動作確認、分解清掃(ダイヤフラム/弁交換)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		
総合調整	再現性確認試験		

2 特記事項等

--

別記3

窒素酸化物自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK GLN-354D型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

3 測定パラメーター

※1 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安(単位)	点検前	点検(調整)後※1	備考
PMT出力電圧(NO):スパン導入時	1ppmで約1000mV			NO濃度: ppb
PMT出力電圧(NOx):スパン導入時	1ppmで約1000mV			NOx濃度: ppb
セル温度	50°C(45~55)			
コンバータ温度	170°C(165~175)			
PMT温度	5 °C(5~10)			
計器内温度	45°C以下			
試料圧力(測定状態)	45kPa(30~60)			
試料圧力(ポンプ停止時)	(kPa)			周囲圧力: kPa
試料流量	1200mL/min(800~1800)			
試料流量(基準流量計との比較)	(mL/min)			基準流量計流量: mL/min
オゾン流量	200mL/min(100~300)			
ゼロ偏差:NO	前回との差が±4の範囲内			
ゼロ偏差:NOx	前回との差が±4の範囲内			
スパン係数:NO	前回との変化率が±4%の範囲内			
スパン係数:NOx	前回との変化率が±4%の範囲内			
高压出力	600~800V			
校正器オーバーフロー(校正器稼働時)	2.0~2.5L/min			
スパンガス1次圧	1MPa以上			
スパンガス2次圧	約0.1MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

4 再現性確認結果

導入ガス	設定濃度(ppb)	1回目(ppb)	2回目(ppb)	3回目(ppb)	平均値
NO ゼロ	0				#DIV/0!
NOx ゼロ	0				#DIV/0!
NO スパン					#DIV/0!
NOx スパン					#DIV/0!

5 記録計出力の確認(・調整) (4再現性確認と同時に実施してもよい)

導入ガス	設定濃度(ppb)	機器表示(ppb)	記録計表示(ppb)
NO ゼロ	0		
NOx ゼロ	0		
NO スパン			
NOx スパン			

6 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

非メタン炭化水素自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	紀本 HA-771	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃)		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	流路配管・継ぎ手類・流路切換弁の確認、清掃(交換)		
本体	検出部(FIDセル)の確認(清掃)		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
本体(分析部)	スペクトルの確認・調整(部品交換)		
本体(分析部)	助燃空気精製器(触媒管)の確認(交換)		
本体(分析部)	助燃空気流量センサの確認(交換)		
本体(分析部)	計量管の確認(交換)		
ポンプユニット	助燃空気除塵フィルターの確認(交換)		
ポンプユニット	圧送ポンプの動作確認(部品交換)		
ポンプユニット	吸引ポンプの動作・流量確認(交換)		
ポンプユニット	助燃空気ラインフィルタの確認(交換)		
ポンプユニット	除湿器の確認(交換)		
配管部	MSカラム交換		
水素発生器	純水の水位確認・補充、イオン交換樹脂交換		
水素発生器	乾燥剤・ボンテンフィルターの確認(交換)		
N2ガスポンプ	N2キャリアガス残圧確認・2次圧確認調整		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		

2 特記事項等

--

3 交換部品 (部品名、数量などを記載)


4 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『O』をつける。(例: O100)

別記3

非メタン炭化水素自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	紀本 HA-771	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
オープン温度	65±10℃			
精製器温度	350±30℃			
キャリア圧力	設定圧力±5kPa			設定圧力: kPa
バーナエア流量	650±100ccpm			
H2流量	設定流量±5ccpm			設定流量: ccpm
助燃空気圧力	0.08±0.01MPa			
CH4 ゼロ偏差				
CH4 スパン係数				
CH4 ゲート				
CH4 取込み				
NMHC ゼロ偏差				
NMHC スパン係数				
NMHC ゲート				
NMHC 取込み				
ベース NMHC				
サンプル時間				
CH4/NMHC 応答比				
バーナエア流量 ゼロ				
バーナエア流量 スパン				
バーナエア流量 オフセット	500±			
水素発生器圧力	15kPa(×10)			
窒素ガスポンベ1次圧(残圧)	2.0 MPa以上			
窒素ガスポンベ2次圧	約0.2MPa			
スパンガスポンベ1次圧(残圧)	1.0 MPa以上			
スパンガスポンベ2次圧	約0.05 MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

5 ゼロ・スパンの確認及び記録計出力の確認・調整

導入ガス	設定濃度(ppmC)	機器表示(ppmC)	記録計表示(ppmC)
CH4 ゼロ	0		
NMHC ゼロ	0		
CH4 スパン			
NMHC スパン			

6 クロマトグラム

表示画面の写真を撮り添付すること

別記3

非メタン炭化水素自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKKGHC-355B型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃)		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	流路配管・継ぎ手類の確認、清掃(交換)		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
本体	基準流量計による流量確認		
本体(分析部)	クロマトグラム確認(分析部部品交換)		
本体(分析部)	オープン用ファンの動作確認(交換)		
本体(前処理部)	不織布フィルターの清掃(交換)		
本体(前処理部)	助燃空気用フィルターの確認(交換)		
本体(前処理部)	コンバーターアセンブリーの確認(交換)		
本体(前処理部)	サンプリングポンプの動作確認(交換)		
本体(前処理部)	フィルターレギュレーターの水抜き		
校正ガス調整装置	オーバーフロー流量確認(校正器稼働時)		
校正ガス調整装置	フィルター1確認(交換)		
校正ガス調整装置	ポンプの動作確認、分解清掃(ダイヤフラム/弁交換)		
コンプレッサー	外付けコンプレッサー動作確認		
コンプレッサー	外付けコンプレッサー水抜き		
水素発生器	純水の水位確認・補充、イオン交換樹脂交換		
水素発生器	乾燥剤・ポンテンフィルターの確認(交換)		
配管部	モレキュラーシーブアセンブリーの交換(N2ライン・H2ライン)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	ゼロ及びスパン値の確認		

2 特記事項等

--

別記3

非メタン炭化水素自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKKGHC-355B型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

3 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
オープン温度	59~61℃			
計器内部温度	45℃以下			
試料流量	300 mL/min以上			通常測定時流量
試料流量(基準流量計との比較)	基準流量計と一致していること			基準流量計流量: mL/min
試料圧力	約100 kPa			
CH4 ゼロ偏差	約0.0000(前回値との差±0.1ppmC)			
NMHC ゼロ偏差	約0.0000(前回値との差±0.1ppmC)			
スパン係数	約1.0000(前回値との差±10%以内)			
スパン補正係数	約1.0000(前回値との差±10%以内)			
助燃空気圧力	0.06 MPa			
計器内水素ガス圧力	0.10 MPa			
計器内窒素ガス圧力	0.20 MPa			
水素発生器圧力	20 kPa(×10)			
窒素ガスポンベ1次圧(残圧)	2.0 MPa以上			
窒素ガスポンベ2次圧	0.3~0.31 MPa			
スパンガスポンベ1次圧(残圧)	1.0 MPa以上			
スパンガスポンベ2次圧	0.05 MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

4 ゼロ・スパンの確認及び記録計出力の確認・調整

導入ガス	設定濃度(ppmC)	機器表示(ppmC)	記録計表示(ppmC)
CH4 ゼロ	0		
NMHC ゼロ	0		
CH4 スパン			
NMHC スパン			

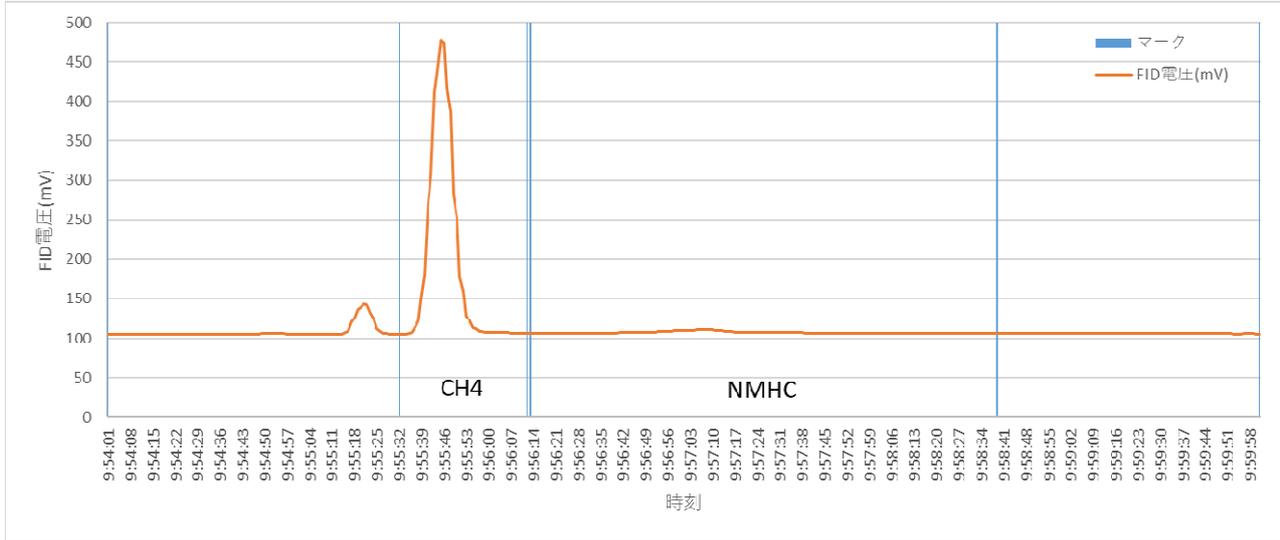
NMHCはC3H8を使用

別記3

非メタン炭化水素自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者
機種	東亜DKKGHC-355B型	終了日時	年 月 日 時 分	
製造番号		製造年月	年 月	

5 クロマトグラム



6 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記3

## 一酸化炭素自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK GFC-351B型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 1 点検記録 (注)評価欄への記入は次のとおりとする。 ○…良好 △…やや難あり(測定に支障なし) ×…不良

部位等	点検事項	評価	調整(部品交換)状況等
本体他	パラメータ等の確認・調整、記録(点検前・点検調整後)		
試料導入部	試料採取管の交換		
記録計	動作確認、整備(清掃、注油(必要な機種))		
記録計	記録紙交換(交換の指示があった場合)、時刻合わせ		
記録計	印字濃度の確認(リボンカセット交換)		
記録計	記録計ゼロ・スパンの確認(調整)		
記録紙/計器内データ	機器異常の有無確認、対応		
記録紙/計器内データ	自動校正の実施状況確認		
本体	ポンプの動作確認、分解清掃、ダイヤフラム/弁交換		
本体	計測器内部配管・継ぎ手類の確認、清掃(交換)		
本体	オーバーフロー流量の確認(調整)		
本体	フィルターケースの清掃、パッキンの確認(交換)、フィルター交換		
本体	基準流量計による流量確認、調整		
本体	光源アセンブリの確認(交換)		
本体	カートリッジフィルターの交換		
本体	ドライヤーユニットの確認(交換)		
総合調整	ガス漏れ試験		
総合調整	内部ゼロ値更新の実行		
総合調整	再現性確認		

## 2 測定パラメーター

※ 調整した場合は調整後数値の初めに『○』をつける。(例:○100)

パラメーター	基準・目安	点検前	点検(調整)後※	備考
Meas値	2000~3500mV			
Ref値	1400~2800mV			
M/R値	1.2(1.05~1.25)			
計器内部温度	45℃以下			
セル温度	45℃(42~48)			
ホイール温度	65℃(62~68)			
検出器温度	52~58℃			
ホイール回転数	約95kPa			
試料圧力	周辺圧力±5.0kPa@ポンプ停止時			大気圧( kPa)
試料流量	1600~2000mL/min			
試料流量(基準流量計との比較)	-			基準流量計流量( )
ゼロ偏差	-			
スパン係数	-			
内部ゼロ値	-			
オーバーフロー流量	0.5L/min			
スパンガス1次圧	1MPa以上			
スパンガス2次圧	約0.05MPa			
ゼロガス1次圧	1MPa以上			
ゼロガス2次圧	約0.05MPa			

注)基準・目安が製造時期、測定環境等により表記と異なる場合は、備考欄にその機器の基準(設定値)を記入すること。

別記3

## 一酸化炭素自動測定記録計 精密点検記録簿

測定局名		開始日時	年 月 日 時 分	点検者	
機種	東亜DKK GFC-351B型	終了日時	年 月 日 時 分		
製造番号		製造年月	年 月		

## 3 特記事項等

--

## 4 再現性確認結果

導入ガス	設定濃度(ppb)	1回目(ppb)	2回目(ppb)	3回目(ppb)	平均値
ゼロ	0				#DIV/0!
スパン					#DIV/0!

## 5 記録計出力の確認(・調整) (4再現性確認と同時に実施してもよい)

導入ガス	設定濃度(ppb)	機器表示(ppb)	記録計表示(ppb)
ゼロ			
スパン			

## 6 交換部品 (部品名、数量などを記載)


別記4 点検実施計画表

測定局名	定期点検	精密点検
環境保全研究所		
松 本		
上 田		
諏 訪		
大 町		
飯 田		
伊 那		
須 坂		
佐 久		
木 曾		
小 諸		
中 野		
更埴インターチェンジ		
岡谷インターチェンジ		
コンテナ No. 1 (軽井沢町)		
コンテナ No. 2 (喬木村)		
大気環境測定車		

別記5 機器管理担当者

測定局名	機器管理担当者
環境保全研究所	環境保全研究所大気環境部
松 本	松本地域振興局環境・廃棄物対策課
上 田	上田地域振興局環境課
諏 訪	諏訪地域振興局環境課
大 町	北アルプス地域振興局総務管理・環境課
飯 田	南信州地域振興局環境課
伊 那	上伊那地域振興局環境・廃棄物対策課
須 坂	長野地域振興局環境・廃棄物対策課
佐 久	佐久地域振興局環境・廃棄物対策課
木 曾	木曾地域振興局総務管理・環境課
小 諸	佐久地域振興局環境・廃棄物対策課
中 野	北信地域振興局環境課
更 埴インターチェンジ	長野地域振興局環境・廃棄物対策課
岡 谷インターチェンジ	諏訪地域振興局環境課
コンテナ No. 1 (軽井沢町)	佐久地域振興局環境・廃棄物対策課
コンテナ No. 2 (喬木村)	南信州地域振興局環境課
大 気 環 境 測 定 車	環境保全研究所大気環境部

各機関連絡先

機関名	連絡先
佐久地域振興局環境・廃棄物対策課	0267-63-3166
上田地域振興局環境課	0268-25-7134
諏訪地域振興局環境課	0266-57-2952
上伊那地域振興局環境・廃棄物対策課	0265-76-6817
南信州地域振興局環境課	0265-53-0434
木曾地域振興局総務管理・環境課	0264-25-2234
松本地域振興局環境・廃棄物対策課	0263-40-1941
北アルプス地域振興局総務管理・環境課	0261-23-6563
長野地域振興局環境・廃棄物対策課	026-234-9590
北信地域振興局環境課	0269-23-0202
環境保全研究所大気環境部	026-227-0389
県庁水大気環境課大気保全係	026-235-7177